

地域の個性を
活かしたまちづくり

クラスタの まち実現プロジェクト



西城探検隊が比婆山へ 大人の遠足

地元を歩き新たな魅力を発見しようと、西城探検隊の17人が9月5日、比婆山登山を行いました。

これは、西城地域のクラスタのまち実現プロジェクトの一環として行われ、5月31日に続き2回目。この日は、西城町油木の竹下敦さんの案内で、竜王山駐車場を出発し、竜王山頂、立烏帽子山、池の段を経て、イザナミノミコトの眠る比婆山御綾に向かいました。

説明を聞きながら、のんびりと歩く道筋には、国の天然記念物ブナ純林をはじめとする雄大な自然や史跡、古事記神話の伝承地などが偏在するほか、マツムシソウやイヨフウロといった可憐な草

花が秋風に揺れ、参加者の目を楽かせていました。

明治時代に大佐地区の人が一丁ごとに置いた石の道標「丁石」を発見するなど、有意義な大人の遠足となり、参加者は「比婆山の魅力を多くの人に知ってほしい」「これから西城探検隊に参加して、知らなかった西城の魅力を発見したい」と話していました。

西城探検隊は地域住民によるワークショップ西城円卓



比婆山頂上で「門樞」の説明を聞く参加者

会議から生まれた組織。地元
の新たな魅力を発見し楽しみ
ながら情報発信しています。

「食」と「農」を学ぶ ヒバゴンキッチン

地元産野菜の持ち味を引き出す調理法を学び、生産の現場まで元気にしていこうとする料理講座「ヒバゴンキッチン」が9月13日、西城保健福祉総合センターしあわせ館で開催され、地域住民を中心に37人が参加しました。

これは、西城地域のクラスタのまち実現プロジェクトの一環で、「食」と「農」について住民が一緒に学び、考えていく場を作ろうと実行委員会が企画。

今回は、海外生活での経験やセンスを生かし、食の分野で幅広く活躍している料理研究家の谷島せい子先生を講師に招き、西城地域で生産量が増えているトマトをテーマに、そのおいしさを引き出す方程式を学びました。参加者は、学んだ理論を小グループの実習で実際に確かめ、谷島先生



谷島先生の話を熱心に聞く参加者

考案の西城産トマト料理を試食して素材の持つパワーを実感。「今日習ったおいしさの方程式でますます楽しく料理できそう」「旨味の組み合わせをいろいろ試してみたい」と話していました。

ヒバゴンキッチンは、今後も「食」と「農」が相互に響きあいながら、地域がもつと豊かになるような企画を提案していきます。

バスツアーで 比和まちなか活気

比和まちなかぶらりまちあるきプチ・イベントが8月23日、宿場町の面影が残る比和商店街で開催され、庄原さとやまバスツアーを受け入れられました。

これは、クラスタのま

ち実現プロジェクトの一環として、地域資源を有効活用し、地域活性化を図ろうと比和まちなか活性化推進チームが企画。この呼びかけに賛同した地元住民が、店舗の空きスペースなどを活用し、いにしえの写真展や特産品の販売などを行いました。

広島市からのツアー客38人は、地元住民の案内でゆつくりと散策し、田舎料理や比和自然科学博物館を楽しみました。特に昼食の10割そばと田舎料理は、「どこのツアーで食べた食事よりもおいしくてごちそうだった」と好評。その他、「昔の建物が魅力的だった」「町全体がきれいでゴミのない町」「人柄が温かい」などの感想が聞かれました。



地元住民がまちなかを案内